

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	株式会社 劇団芸優座
公演団体名	株式会社 劇団芸優座

内容
<p>① 第一部(全校生徒の皆さんを対象に・・・ 30～45分)</p> <p>☆事前の鑑賞指導 公演本番を心待ちにして頂ける様、作品の粗筋やテーマ・見所、舞台となる京都の風景や時代背景、一休禅師の生涯についてなど、プロジェクターで美しい映像を見ながら簡潔に説明します。</p> <p>☆「お芝居の稽古」体験 俳優が日々続けている発声・発音の練習、呼吸法や準備運動、「リラックスと集中」など、日常生活にも役に立つ演劇訓練も紹介、体験しますが、状況に応じて、実際には声を出さない方法に変更したり、劇団員のデモンストレーションのみ、あるいは割愛することも可能です。続いて、全員参加シーンのお稽古ですが、通常通りでの実施が難しい場合は、アクションと手拍子に変更します。</p> <p>※ 前半後半共、放送やリモートに替え、各教室での実施も可能です。</p> <p>② 第二部(共演する生徒さんを対象に・・・ 50～90分)</p> <p>★まずは、ウォーミングアップ 通常実施しているインプロゲームの中でも、声を出さず、距離も十分とれるプログラムを選び、コミュニケーションをとる事の大切さ、体一杯で表現する事の面白さ等を経験して頂きます。続いて、その場で一人でできる簡単なエチュード等、演技するための具体的な訓練も体験します。ただし、この前半部分は時間等、実施が厳しい場合は割愛可能です。</p> <p>★舞台に立つための稽古 劇団員とは距離をとり、通常通り、共演シーンの稽古をさせて頂くことが理想です。ただし、先生にはご負担をお掛けしますが、事前に出演台本をお送りし、本公演のDVDをお貸しした上で、予習をして頂くことで時間の短縮も可能です。また、スタッフとしてご参加を希望なさる方については、基本的には第二部全て一緒にご参加頂きたいのですが、場合によっては、当日のリハーサルのみ参加でも可能です。</p> <p>※ 残念ながら共演を断念なさって、作品の鑑賞のみも可能です。</p>

タイムスケジュール（標準）

担当者到着～開始時間のおよそ一時間前。準備・会場の下見

第一部(全体向け) 30～50分(終了後、休憩10分)

第二部(共演者のみ) 前半30分・後半30～60分

※ワークショップ終了後、担当先生と公演当日の打ち合わせを予定しています。

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

講師 1名

補助 0～3名(共演がない場合は帯同せず)

学校における事前指導

共演シーンの予習がない場合、資料をお配り頂く事以外は特にありません。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	株式会社 劇団芸優座
公演団体名	株式会社 劇団芸優座

演目
<p style="text-align: center;">いっ きゅう 『 一 休 さん 』 二幕四場 公演時間 80分 (途中休憩 10分)</p> <p style="text-align: center;">脚本：平塚 仁郎 演出：村田 里絵</p>

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
出演者 12名 スタッフ 3名

タイムスケジュール (標準)
共演ありの場合…… 開演時間 13時30分として …… 7時頃到着～ ただちに舞台・楽屋共、搬入・仕込み (所要時間 4時間) (この間に、先生と開演の最終打ち合わせをします) 10時30分頃～ 共演生徒さん方のリハーサル (所要時間 1時間) (共演生徒さんの衣装合わせ・座席の確認もします) 12時30分頃～ 昼食後、共演生徒さん再集合 (メイク・衣裳着替え・準備運動等) 終演14時50分 (途中休憩10分) (希望があればバックステージツアー、交流会など開催) ●ばらし作業には1時間半から2時間かかります (希望があればお手伝いも可能)。
※共演なしの場合…… 開演時間 13時30分として …… 9時頃到着～仕込み リハーサル・生徒さんの準備以外は通常通り

実施校への協力依頼人員

特にお願いする事はありません。

演目解説

人数やお時間の都合で、以下のような変更が可能です

※共演なしバージョン(上演時間は変わりません)

第一幕 この橋わたるべからず (お寺の大広間)
変更⇒第二幕 「言わずに書いた！」とはなんのこと？ (お寺の門前)
変更⇒第三幕 修行の合間 (里山の夕景)
一休たち小坊主3人が、遊んだり歌ったり・・・
第四幕 「母上に会いたい・・・」 (お寺の大広間)

※60分バージョン

第一幕 この橋わたるべからず (お寺の大広間)
第三幕 修行の合間 (里山の夕景)
第四幕 「母上に会いたい・・・」 (お寺の大広間)

※1コマバージョン(上演時間40分)

第一幕 この橋わたるべからず (お寺の大広間)
第二幕 「言わずに書いた！」とはなんのこと？ (お寺の門前)

○幕ごとにお話は完結しています。

○「共演あり」の場合、第二幕、第三幕いずれか一方でも問題ありません。また、60分バージョンの第三幕、1コマバージョンの第二幕での共演も可能です。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

◎事前の鑑賞指導について

わずかでも作品の背景を知ること、当日、積極的に深い鑑賞が可能となり、より楽しめる事は確実です。そこで、この時間に関しては、放送やリモートに変更しても、ぜひ実施をお願いしたいと思います。コロナ禍にあっても、舞台芸術が映像とは違う、「観客」と共に創造していくものであるという事を、なんとか「体験」して頂きたいと願い、豊かな時間となるよう工夫します。

◎共演について

安心安全を第一に考え、ワークショップから本番まで、共演生徒さんには常にマスクの着用をお願いし、俳優も共演シーンのみは舞台上マスクを着用しています(舞台袖では全員マスクを着用)。また、生徒さんの衣装替えはご自身で出来るよう予め準備を整え、髪は使用せず、メイクも可能な限り(ポイントメイクなど)とさせて頂いています。
また、共演までの控え・鑑賞も舞台袖ではなく、特設座席をフロアーに設け、常に俳優とは距離をとります。

児童生徒とのふれあい

通常は、お別れのその時まで、ふれあいを大切にしていますが、コロナ禍にあつては対面では難しい為、これまで以上に、感想文やお手紙でのやりとりを増やしたり、人数の制限はありますが、リモートでの交流などをご提案しています。